

5 所得税の確定申告書A(住宅借入金等特別控除を受ける場合)

〈記入例〉

給与所得者が住宅借入金等特別控除を受ける場合

年収……………源泉徴収票参照

購入物件……………購入価額47,900,000円（消費税等込）のマンション

（内消費税等込建物価額26,900,000円）

専有面積（登記簿面積）76.87㎡

入居日……………平成XX年5月1日

借入金の年末残高…24,426,300円

平成 年分 給与所得の源泉徴収票																							
支払 を受ける 者	住所又は居所 東京都品川区東品川〇-〇-〇				(受給者番号)		営業課長																
					(役職名)																		
					氏名 (フリガナ) タナカ ヒデオ 田中 秀男																		
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額																			
給料・賞与	内 千 円 7 800 000	千 円 5 820 000	千 円 1 978 000	千 円 340 900																			
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)			16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数															
有	従有	特 定	老 人	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人												
〇		0		2																			
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額																	
内 千 円 405 000		千 円 50 000		千 円 3 000		千 円																	
(摘要)																							
妻 陽子 長男 正彦 長女 由美																							
生命保険料の内訳	新生命保険料の内訳	旧生命保険料の内訳	介護保険料の内訳	新採入年金保険料の内訳	旧採入年金保険料の内訳																		
住宅借入金等特別控除の内訳	住宅借入金等特別控除(旧)	住宅借入金等特別控除(新)	住宅借入金等特別控除(旧)	住宅借入金等特別控除(新)	住宅借入金等特別控除(旧)																		
控除対象配偶者		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		旧長期損害保険料の内訳																	
(フリガナ) 氏名 区分		氏名 区分		氏名 区分		氏名 区分																	
1 (フリガナ) 氏名 区分		1 (フリガナ) 氏名 区分		1 (フリガナ) 氏名 区分		1 (フリガナ) 氏名 区分																	
2 (フリガナ) 氏名 区分		2 (フリガナ) 氏名 区分		2 (フリガナ) 氏名 区分		2 (フリガナ) 氏名 区分																	
3 (フリガナ) 氏名 区分		3 (フリガナ) 氏名 区分		3 (フリガナ) 氏名 区分		3 (フリガナ) 氏名 区分																	
4 (フリガナ) 氏名 区分		4 (フリガナ) 氏名 区分		4 (フリガナ) 氏名 区分		4 (フリガナ) 氏名 区分																	
未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	乙 欄	本人が障害者その他	寡 婦	妻 夫	専 業 学 生	中途就・退職		受給者生年月日												
									就職	退職	年	月	日	明	大	昭	平	年	月	日			
																					〇	〇〇	9 1
(受給者交付用)																							
支払者	住所(居所)又は所在地				氏名又は名称																		
	東京都千代田区丸の内〇丁目〇番〇号				△商事株式会社																		
					(電話) 03-XXXXX-XXXX																		

平成 年分(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額の計算明細書 FA4021

○この明細書は、(特定増改築等)住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合に使用します。
○この明細書の書き方については、控用の裏面を参照してください。

整理番号

一面
提出用

1 住所及び氏名

(共有者の氏名) ※共有の場合のみ書いてください。

郵便番号	140-0002	フリガナ	
住所	東京都品川区東品川〇-〇-〇	氏名	
電話番号	()	フリガナ	
フリガナ	タナカ ヒデオ	氏名	
氏名	田中 秀男		

2 新築又は購入した家屋等に係る事項

3 増改築等をした部分に係る事項

	家屋に関する事項	土地等に関する事項
居住開始年月日	平成×× 05 01 (平成)	居住開始年月日 平成)
取得対価の額 (補助金等がある場合は(付表1)の①の金額)	26900000	21000000
総(床)面積 ※小数点以下第2位まで書きます	76.87	51.16
うち居住用部分 の(床)面積	76.87	51.16

増改築等の費用の額
(補助金等がある場合は(付表1)の①の金額)
うち居住用部分の金額

※ ①(補助金等がある場合は(付表1)の①の金額)が100万円を超えるときに、増改築等に係る住宅借入金等特別控除の適用を受けることができます。

4 特定取得に係る事項

家屋の取得対価の額又は増改築等の費用の額(2の②又は3の①)に含まれる消費税額等が、8%の消費税及び地方消費税の税率により課されるべき消費税額等である場合、右の「特定取得」の文字を○で囲んでください。

特定取得

5 家屋や土地等の取得対価の額

	① 家屋	② 土地等	③ 合計	④ 増改築等
あなたの共有持分 ※共有の場合のみ書いてください。				
あなたの持分に係る 取得対価の額等	26900000	21000000	47900000	

6 居住用部分の家屋又は土地等に係る住宅借入金等の年末残高

	⑤ 住宅のみ	⑥ 土地等のみ	⑦ 住宅及び土地等	⑧ 増改築等
新築、購入及び増改築等に係る 住宅借入金等の年末残高			24426300	
連帯債務に係るあなたの負担割合 (付表2)の⑬の割合) ※連帯債務がない場合は、100%と書きます。			100.00	
住宅借入金等の年末残高 (付表2)の⑭の金額) ※連帯債務がない場合は、③の金額を書きます。			24426300	
②と⑤のいずれか が少ない方の金額			24426300	
居住用割合 ※90%以上である場合は、100%と書きます。			100.0	
居住用部分に係る住宅借入金等の年末残高 (⑥×⑦)			24426300	
住宅借入金等の年末残高の合計額 (⑤の⑧+⑥の⑧+⑦の⑧+⑧の⑧) ※ ⑨の金額を二面の「住宅借入金等の年末残高の合計額⑨」欄に転記します。				24426300

7 特定の増改築等に係る事項 (特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合のみ書いてください。)

高齢者等居住改修工事等に係る特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合に、あなた又は同居親族の方について該当する欄をチェックします。	⑩ 高齢者等居住改修工事等の費用の額 ※	⑪ 断熱改修工事等の費用の額 ※	⑫ 特定断熱改修工事等の費用の額 ※
1 年齢が50歳以上(同居親族の方は65歳以上)……………			
2 障害者(1に該当する方を除きます)……………	⑬ 特定多世帯同居改修工事等の費用の額 ※	⑭ 特定耐久性向上改修工事等の費用の額 ※	⑮ 特定の増改築等工事の費用の合計額 (⑩+⑪+⑫+⑬)
3 要介護認定又は要支援認定を受けている (1又は2に該当する方を除きます)……………			
同居親族の方が該当する場合は、その方の氏名等を書きます。 氏名() 続柄()	⑯ あなたの持分に係る特定の 増改築等工事の費用の額 (⑬又は⑭の①の①)	特定増改築等住宅借入金等、特定断熱改修住宅借入金等 又は特定多世帯同居改修住宅借入金等の年末残高 (⑮)上のいずれか少ない方の金額で最高250 万円。ただし、住宅の増改築等(特定多世帯 同居改修工事等)に係るものは、最高300万円。)	⑰

※⑯欄から⑰欄までの金額が50万円を超えるときに特定増改築等住宅借入金等特別控除の適用を受けることができます。詳しくは、控用の裏面の4を参照してください。

8 (特定増改築等)住宅借入金等特別控除額

二面の該当する算式のうち、いずれか一の算式により計算し、その番号を書きます。

(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額(100円未満の端数切捨て) ※ 二面の⑰の金額を転記します。

200000

※下の適用を受ける場合には、該当する文字を○で囲んでください。

適用期間	適用期間の特例	重複適用	重複適用の特例	⑱
				00

※左の重複適用(の特例)を受ける場合に二面の⑱の金額を右に転記します。

9 控除証明書の要否

平成31年分以後に年末調整でこの控除を受けるため、控除証明書の交付を要する方は、右の「要する」の文字を○で囲んでください。

要する

整理欄

住	民	台	帳	番	号	一	連	番	号

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

税務署長		平成 <input type="text" value="11"/> 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A		FA0114
○年○月○日				
住所 (又は居所)	〒1400002		個人番号	XXXXXXXXXXXX
	東京都品川区東品川○-○-○		フリガナ	タナカ ヒテオ
平成 年 1月1日 の住所	同上		氏名	田中 秀男 田中
			性別	世帯主の氏名 田中 秀男 世帯主との続柄 本人
		生年月日	3 × × 0 9 0 1	電話番号 03-××××-××××
		整理番号		

		(単位は円)		整理番号	
収入金額等	給与	⑦	7800000	課税される所得金額 (⑤ - ⑳)	⑲ 3842000
	雑 公的年金等	①		上の⑲に対する税額	⑳ 340900
	雑 その他	②		配当控除 (特定増改築等) 区分	㉔ 200000
	配当	③		住宅借入金等特別控除 区分	㉕
所得金額	一時	④		政党等寄附金等特別控除 区分	㉖
	合計 (①+②+③+④)	⑤	5820000	住宅新築改修特別控除 区分	㉗
	社会保険料控除	⑥	405000	住宅特定改修・認定住宅新築等特別控除 区分	㉘
	小規模企業共済等掛金控除	⑦		差引所得税額 (㉙-㉚-㉛-㉜)	㉚ 140900
所得から差し引かれる金額	生命保険料控除	⑧	50000	災害減免額	㉜
	地震保険料控除	⑨	3000	再差引所得税額 (基準所得税額) (㉝-㉞)	㉝ 140900
	寡婦・寡夫控除	⑩	0000	復興特別所得税額 (㉞ × 2.1%)	㉞ 2958
	勤労学生・障害者控除	⑪	0000	所得税及び復興特別所得税の額 (㉞ + ㉟)	㉟ 143858
	配偶者(特別)控除 区分	⑫	380000	外国税額控除 区分	㉟
	扶養控除	⑬	760000	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	㊱ 340900
	基礎控除	⑭	* 380000	所得税及び復興特別所得税の申告納税額 (㊱-㊲-㊳)	㊲ 00
	⑯から⑰までの計	⑰	1978000	運付される税金	㊳ 197042
	雑損控除	⑱		配偶者の合計所得金額	㊴
	医療費控除 区分	⑲		雑所得・一時所得の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計額	㊴
寄附金控除	⑳		未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額	㊵	
合計 (⑰+⑱+⑲+⑳)	㉑	1978000	申告期限までに納付する金額	㊶ 00	
			延納届出額	㊷ 000	

還受付される税金の所	○ ○	銀行 金庫・組合 農協・漁協	東品川	本店 出張所 支所
郵便局名等		預金種類	普通 当座 納税準備 貯蓄	
口座番号 記号番号				

区分異動	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
管理											
補完											
納管											
事務											
住民											
検算											
一連番号											

(税 理 士 署 名 押 印)

電話番号

税理士法第30条の書面提出有

税理士法第33条の2の書面提出有

※令和2年分以降、基礎控除が改正されます。